

会 議 録

- 1 附属機関の会議の名称 水戸市立博物館協議会
- 2 開催日時 令和4年7月29日（金） 午前10時から12時まで
- 3 開催場所 水戸市立中央図書館 3階 視聴覚室
- 4 出席した者の氏名
  - (1) 委員 桐原 幸一, 笹目 礼子, 河原 将子, 村山 朝子, 安嶋 隆, 小塚 のり子,  
玉川 里子, 塚原 正彦, 藤本 陽子, 土田記代美
  - (2) 執行機関 小川 邦明, 鈴木 雅人, 平澤 尚子, 中村 有紀子, 藤井 達也, 坂本 京子
  - (3) その他
- 5 議題及び公開・非公開の別
  - (1) 正副委員長の選出（非公開）
  - (2) 報告事項
    - ① 特別展「渡り鳥の不思議 一行く鳥 来る鳥」の結果について（公開）
    - ② 令和3年度博物館事業の実施結果について（公開）
  - (3) 協議事項
    - ① 企画展「夏休み子どもミュージアム いのちのかたち 彫刻家・木内克のまなざし」の開催について（公開）
    - ② 特別展「昭和ラプソディ 一杯の珈琲を飲みながら」の開催について（公開）
    - ③ 令和4年度博物館の主な事業について（公開）
  - (4) その他（公開）
- 6 非公開の理由  
正副委員長選出に係る議論において、水戸市情報公開条例第7条第2号に規定する個人に関する情報が含まれる可能性があるため。
- 7 傍聴人の数（公開した場合に限る。） 0人
- 8 会議資料の名称 令和4年度第1回水戸市立博物館協議会

## 9 発言の内容

(開会のあいさつ)

**【委員長】**

では、議事に入ります。初めに、報告事項として、特別展「渡り鳥の不思議 一行く鳥 来る鳥」の結果について、次に令和3年度博物館事業の実施結果について、報告をお願いします。

**【執行機関】** (資料説明)

**【委員長】**

以上のことについて何か質問等ございますか。

**【\_\_ 委員】**

12 ページにある「4 購入資料」の小瀬家文書について、簡単にどのような資料かご説明ください。

**【執行機関】**

水戸藩士の家に伝わった古文書です。当館で数百点のまとまった小瀬家文書を所蔵していたのですが、同資料ともともと一体であったものが古書店で販売されているのが確認されたため、購入したものです。

**【委員長】**

他にないでしょうか。それでは、先へ行きます。

協議事項は3点ございますが、企画展は後で会場を見ながら御説明があるということですので保留にしまして、「昭和ラブソディ」「博物館の主な事業」と質疑応答を先に進めさせていただきます。では、まず「昭和ラブソディ」を御説明いただけますか。

**【執行機関】** (資料説明)

**【委員長】**

御質問ございますか。

寄贈品の欄を見ると、水戸市にお住まいでない方がいろいろなものを寄附なさってますね。貴重な写真とか書画とか資料があれば、この辺では預けやすいのかな。話を聞いてみて良さそうだったら収蔵するというのも手かと思ひ、どこかにそういう掲示があってもいいのではないかと思います。

また、水戸の芸術祭で水戸の大空襲をビデオで流していたのですが、30分位経っていたと思いますが、誰もいないので邪魔されずに見られたので、博物館のコロナ期の使い方はそういうのも

あるかなと思ったりしました。

【\_\_\_委員】

「那珂川ヒストリー ―水とともに生きた人々―」は、現時点でもう少しイメージがあったらお聞かせください。

というのは、小中高の学校教育において、川を手掛かりにして、地域のことや、歴史的にもあるいは地理的にも、あるいは自然と人々とのかかわりや防災、そういうので那珂川はすごく注目すべきものだと思うので、内容によりけりですが、ぜひ学校に宣伝して欲しい、そこに力を入れて欲しいと思ったものですから。今の時点で何か概要が少し分かっていたらお知らせいただけますか。

【執行機関】

「那珂川ヒストリー」は、那珂川という川を歴史の視点から取り上げる展覧会になっております。

川と言いますと、物や人を運ぶ道としての役割、川から魚や資源を採るという生業に関わる役割、その一方で、水害が起きて近隣の町や村に大きな被害をもたらすという3つの側面があります。

特に流通・生業・災害の3つの視点に注目しながら、那珂川の歴史、時代としては江戸時代が多くはなりますが、少し古い時代から近代に入るぐらいまでを紹介する展覧会を予定しています。

【\_\_\_委員】

多くの子どもたちにも見てもらいたいし、先生たちがその次の年度の教材研究や教材開発するのにもとても役に立つと思います。ぜひ充実したものをお願いしたいと思います。

【委員長】

この前NHKの番組で流域治水について特集を組んでいたんですが、もし仮にそういうことで家が立ち退きで移ってしまうと、そこに住んでいる人たちの洪水の記憶や、ここまで水が来たという写真や濡れた田んぼの様子など、博物館として取っておけるものとそうでないものとありそうな気がします。

【\_\_\_委員】

そうですね。現代の災害のほうは多分調べる方法は比較的あると思うのですが、生業や流通に役立ったという恵みの側面が、最近、学校教育の中で、川は薄いと思うので、そこは博物館の力を発揮できるころだと思いますので、お願いしたいと思いました。

【\_\_\_委員】

どうしても江戸時代だと文書関係が多くなると思うのですが、子どもたちが興味を持つという視点からすると、今の生活に近いところから興味を感じさせて、実際に食べているものやとか実際の災害の記録とかそういうところから興味を持たせるといいのかなと思います。

【\_\_\_委員】

那珂川をやるのであれば、川というのは広域で、栃木県が半分ぐらいなので、那須とか烏山とかと連携されるといいのでは。水源と最後太平洋に行きつくまで取り上げると県外の集客も上がるかと。本当は、上流と下流の両方でやっていただくといいのですが。

【\_\_\_委員】

秋の「昭和ラプソディ」ですが、ちょっと昔のことでもうなかなか分からなくなっているんで、こういう機会に少しもう一回その頃のことを思い直してみると、いろんな街の中の歴史が分かっているんじゃないかなと思います。頑張ってください。

【副委員長】

民俗ではすごく地域密着型の展示をいつもされるので、懐かしく思う方が多いだろうと思うのですが、マッチ箱のコレクションはどれぐらいあるのでしょうか。

【執行機関】

私どもでは経木を使ったマッチ箱は2～3点しかありません。コレクターの方が水戸市内にいらっしゃったので20点ほどお借りして、あとは普通のマッチを私どもで持っておりますので、今回出すのは100点ぐらいです。

【副委員長】

関連行事ですが、「昭和ラプソディ 一杯の珈琲を飲みながら」とはちょっと違うかなと思うような行事もありますが、子どもたちへの関心とかきっかけを作られるのだろうと思うのですが、例えば、おいしいコーヒーの淹れ方講座とかは。

【執行機関】

やりたかったのですが、こういう題名を最初付けたんですが、やはりコロナで飲食はなかなか難しいかなということと言われてしまいました。

関連行事でちょっと違うかなというものもあるかもしれませんが、昭和の夏、夏休みというのもこの中で取り上げていますので、押し花とか貝殻とかを取り入れた次第でございます。

【委員長】

その他ございますか。なければ、よろしいですかね。司会をお返しします。

【\_\_\_委員】

簡単な説明がありましたが、前回ここでお聞きした、どういった部分が改善されたのか修繕されたのかみたいなお聞きしたかったのですが。

【執行機関】

資料の修復につきましては、彫刻「Double Face」と油彩画「いわき・なこそその漁港」の修復を去年行ったところでございます。設備関係も、前回の会議の中で話があった展示ケースにつきましては、ガラスの部分の合わせの部分の修復を行っております。この他にも行灯ケースや空調機、ドアといった諸々の施設の修繕も行いましたので、今回の資料には記載しております。

【\_\_\_委員】

そうではなくて、例えばこの間言っていた「固定ケースにすき間が開いているのを取り替えられるかもしれない」みたいな話はどうですか。

【執行機関】

固定ケース自体は動かせないものなので、そのまま修繕して使っています。

【\_\_\_委員】

何か所くらい直されたのですか。

【執行機関】

3階と4階の固定ケース全体で5か所ぐらいいは直っているかと思います。

【\_\_\_委員】

直っていないのはまだありますか。

【執行機関】

全部直しました。

【\_\_\_委員】

もう1点、収蔵しているものの保管場所が足りない、という話はどうですか。

【執行機関】

そうですね。ハード的なものは建て増ししていないので、今の施設でやりくりしています。

【\_\_\_委員】

突飛な提案で申し訳ないのですが、水戸市の元吉田町事務所は、なかなか交流施設とかにはしづらいのではないかと思います。建物は建て替えるつもりみたいなので、「博物館のしっかりとした温度を調節できるような、空調をちゃんとした大事なものが保管できるようなものにしてもらえないか」みたいな要望というか提案が出せないものでしょうか。

【執行機関】

元吉田町事務所は生活安全課というところが担当しております。全市的な話でして、収蔵庫の確保は大事なことだと思っているのですが、そこは市全体で調整させていただくということで、要望があったことだけ伝えたいと思います。

【\_\_委員】

収蔵庫を必要だという理由が、今までの収蔵庫がいっぱいだからというのではなかなか通らないと思います。今までの話を聞いていると、マッチのコレクターがいたとか、写真のコレクトもあるんで、そういう民間の人たちのいろんなコレクションを集める活動をするというのがこれから重要だと思います。コレクションを収蔵する場所が必要だという理由付けをもう少し建設的に作られたほうがいいのではないのでしょうか。民俗関係の市民目線の収蔵を積極的にこれまでできてきているので、名乗りを上げる理由はあると思うのですが。そういう積極的な収蔵庫の確保についてどこかで検討していただくことが必要かなと思います。

【\_\_委員】

建設中の市民会館のどこかにスペースはないのでしょうか。

【執行機関】

ないと思います。

【委員長】

あとは廃校になった小学校。

【執行機関】

そうですね。水戸市全体では単純に物を置けるところはいくらでもあると思います。

【委員長】

小・中学校，幼稚園までありますね。

【\_\_委員】

ただ、建物を利用してくださいと言われると収蔵庫としては不備なので、ちゃんと収蔵庫を作るのであれば、そういう場所が必要だと思います。

【執行機関】

そうですね。温湿度の管理や鍵の管理など、普通の物置ではないというところは主張すべきところでは。

では、第1回の水戸市立博物館協議会は以上をもちまして終了といたします。